

# 武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

見る／学ぶ／訪ねる／  
武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

【住所】 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10  
【電話】 042-323-4103 【FAX】 042-300-0091  
【E-mail】 museum@city.kokubunji.tokyo.jp  
【HPアドレス】  
http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html

2017.6  
第30号



## 中門跡・鐘楼跡の整備工事が完了しました—史跡武蔵国分寺跡保存整備事業—

平成28年度の史跡武蔵国分寺跡保存整備事業として、僧寺中門跡・鐘楼跡周辺の各遺構の表示を行い解説板を設置したほか、新たに照明灯を設けました。

中門跡周辺は参道・築地堀・堀内外の溝をそれぞれ舗装で平面表示しているほか、調査で確認された6本の幢竿（荘厳具である幡という旗をかかげるための柱）のうち、5本を立体表示しています。

鐘楼跡では唯一原位置を留めていた礎石をそのまま見せつつ、その他の後世に失われた礎石を、調査で確認された礎石据付位置に丸コンクリートを設置して再現しています。

既に整備が完了している講堂とともに古代の武蔵国分寺の様子を体感できるようになりました。今後は平成29・30年度の2か年で金堂周辺の整備工事を行います。



鐘楼跡（南東から）



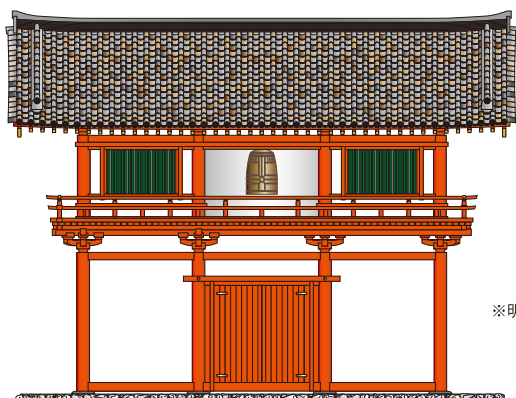
中門跡（南東から）



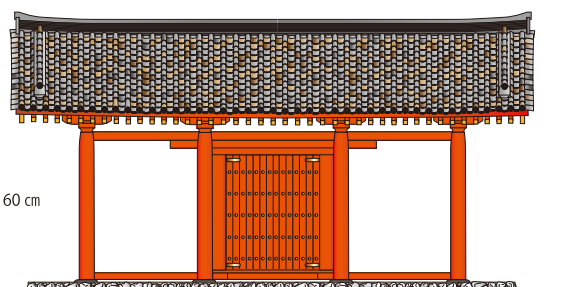
幢竿の立体表示（南から）



僧寺伽藍中枢部配置図（赤字が平成28年度整備箇所）



鐘楼想定復元図（西より、梵鐘は三河国分寺を参考に作成）



中門想定復元図（南より、切妻造屋根）

※明日華姫の身長は160cm

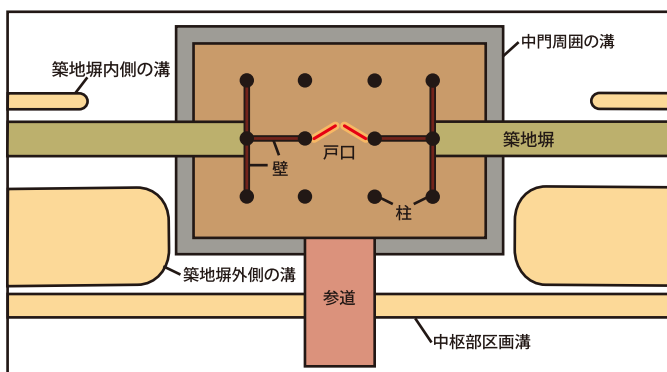


## 中門跡・鐘楼跡の調査成果と保存整備

### 中門跡

中門は金堂などの主要建物と南門（南大門）の間に設けられた門です。武蔵国分寺では伽藍がらんをとり囲む塀かきの南面中央に設けられており、金堂・講堂の中心を通る伽藍中心軸上に位置しています。昭和 40 年度と平成 17～19 年度に調査が行われ、礎石は発見できなかったものの、礎石下部に施されていた 12 か所の壺掘地業つぼほりちぎょうが確認されたことで、12 本の柱がある桁行 3 間・梁行 2 間の八脚門やっあしもんである事が判明しました。さらに伽藍中樞部を囲んでいた塀跡や大溝・小溝、中門南面には、参道と思われる硬質部も確認されました。

壺掘地業は柱位置のみ地盤改良するもので、とくにこ



中門の平面模式図

の中門では完形の瓦も用いた瓦敷きを伴う特殊な版築はんちくであることがわかりました。

中門の屋根構造は法隆寺などに見られる切妻造と想定される一方、調査区から出土した 4 点の隅切瓦すみきりがわにより、入母屋造か寄棟造であった可能性も指摘されます。

また中門は創建当初の東西約 9.5m・南北約 5.9mの礎石建物から、東西約 7.9m・南北約 5.5mの掘立柱建物へと建て替えられたことなどもわかりました。

このような調査成果を踏まえて、整備では創建当初の礎石建物と共に参道・区画溝・築地塀・塀内外の溝について舗装により表示をしました。



壺掘地業底部に敷かれた瓦

### 鐘楼跡

鐘楼は梵鐘を吊るした時間や儀礼を知らせる建物です。古代寺院では一般的に経蔵きょうぞう（経典を納める建物）と対になって配置されており、武蔵国分寺では金堂・講堂の東側を鐘楼、西側を経蔵と推定しています。

鐘楼跡は昭和 40 年度と平成 22・23 年度に調査が行われました。昭和の調査では 12 石の礎石を持つ桁行 3 間、梁行 2 間の建物であることが確認され、平成の調査で桁行約 9.2m・梁行約 5.9mの規模であったことが判明しました。また、平面規模が法隆寺の鐘楼・経蔵とほぼ同じである事から、法隆寺と同様に西側を正面とする 1 階に屋根のない 2 階建ての「楼造ろうぞう」の可能性が挙げられます。

建物基礎は中門のような壺掘地業と考えられていましたが、調査の結果、東西約 11.5m・南北約 14.3m、深さ約 1mの掘込地業ほりこみと呼ぶ地盤改良が施されていたことがわかりました。唯一原位置に残されていた礎石は直径約 1.2mの大きさで、赤く変色しており、火災などで熱を受けた可能性があります。

調査では南面に石・瓦列も確認された事で基壇外装などが設けられていたことも考えられます。今回の整備では礎石と基壇を表示しました。



鐘楼跡の礎石（出土時）



鐘楼跡の礎石（整備後）



平成 29 年度 6 月以降の国分寺市文化財普及事業の予定は以下の表のとおりです。

月	日(曜日)	行 事
6	2日(金)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座 ① [開講式・国分寺市の歴史と文化財 1 旧石器・縄文時代]
	13日(火)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座 ② [国分寺市の歴史と文化財 2 奈良・平安時代]
	27日(火)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座 ③ [ガイド実習]
7	14日(火)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座 ④ 【特別講座】・都文協研修 (講師:文化庁 瀧田主任調査官)
	22日(土)	●市内公民館・図書館出張展示「浜野栄次 昆虫コレクション&スタンプラリー」(8月31日まで)
	25日(火)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座 ⑤ [国分寺市の歴史と文化財 3 中世・近世]
	29日(土)	●バスで行く!市外文化財めぐり(鳩山町,定員45名,事前申込) ●夏季企画展「国分寺の素人演芸」(9月18日まで)
8	8日(火)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座 ⑥ [国分寺にまつわる古文書]
	22日(火)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座 ⑦ [開講式・ボランティア認定式]
10	10日(火)	●市内文化財めぐり(定員30名,事前申込)
	18日(水)	●おたかの道湧水園無料公開(おたかの道湧水園開園記念日)
	中旬	●都立武蔵国分寺公園連携事業「国分寺の自然&歴史,再発見!ディスカバリー・ツアー(秋)」開催
	下旬	教育7DAYS開始(11月上旬まで) ※教育活動の一層の充実のため,市教育委員会,市立小・中学校で教育に関する取り組みを行います。
		●秋季企画展(国分寺市・鳩山町連携事業企画展)
11	4日(土)	●国分寺ジュニア検定 ※市名の由来となった武蔵国分寺の歴史に親しむきっかけとしてもらうため,小学生向けに検定を行います。
	5日(日)	国分寺まつり ●おたかの道湧水園無料公開 史跡ガイドボランティア現地解説(僧寺金堂跡,真姿の池ほか) ●レプリカ作成
12	上旬	●市民歴史講座
1	中旬	●冬季企画展(第3回 国分寺市・坂戸市合同企画展)
	下旬	多摩郷土誌フェア(会場:立川市女性センターアイム1階 健康サロン)
	26日	●文化財防火デー
2		●歴史講演会

※記号説明:●→ふるさと文化財課主催・共催事業,○→ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座,無印→ふるさと文化財課関連行事  
※内容、日程は変更することがあります。

Temporary Exhibition



武蔵国分寺跡資料館 平成 29 年度夏季企画展

地元青年が主役!

国分寺の素人演芸

昭和 10 年代から 20 年代にかけて、レコードに合わせて踊ったり、芝居を行う「素人演芸」が市内各地で開催されていました。素人演芸は各地区の青年会によって企画され、仮設舞台で開催されることが多かったようです。

本企画展では、本村地区(現・西元町と東元町)を中心とした国分寺の素人演芸についてご紹介します。



本村・青年会による踊りの一幕「純情二重奏」(昭和 23 年 9 月 20 日、個人提供)

- 開館時間 午前 9 時～午後 5 時 (入館は午後 4 時 45 分まで)
- 期 間 平成 29 年 7 月 29 日 (土) ～ 9 月 18 日 (月)
- 会 場 武蔵国分寺跡資料館 講座室
- 入 館 料 「おたかの道湧水園」への入園料が必要
- 休 館 日 月曜日 (祝・振替休日の場合は直後の平日)



本村・個人宅での仮設舞台 (昭和 23 年 9 月 20 日、個人提供)

文化財書籍類刊行のお知らせ

販売図書

「古代道路を掘る—東山道武蔵路の調査成果と保存活用—」

本書は平成 22 年度に武蔵国分寺跡資料館で開催した特別展示をもとに、最新の調査成果を踏まえて編集しました。出土遺物の写真や地図を全頁カラーで掲載し、市内で見つかった東山道武蔵路について、図説をまじえて解説しています。武蔵国分寺跡資料館や史跡の駅おたカフェ、三石堂(国分寺駅南口)で販売しています。



発行日：平成 29 年 3 月 10 日  
 サイズ：A4 判／フルカラー  
 ページ数：80 頁  
 価格：定価 700 円

配架図書

※販売していません。

「国分寺市資料目録 4 / 国分寺市史料集 5 柳屋小柳家文書」

市内に残されていた文書史料から、明治～昭和にかけての店舗の運営や人力車業務に関する文書を収録しています。

「国分寺市有形文化財調査報告書—平成 26・27 年度—」

市内の民俗資料についての調査と本多地区に建てられていた洋館の調査内容を収録しています。

「平成 27 年度国分寺市埋蔵文化財調査年報」

平成 27 年度に国分寺市教育委員会が実施した埋蔵文化財の調査結果をまとめた書籍です。国分寺駅北口の再開発の際に発見された防空壕跡なども記載しています。

【主な配架施設】

国分寺市立図書館、武蔵国分寺跡資料館、オープナーなど

来館者数

2009 年 10 月 18 日～2017 年 4 月末日

来館者数累計 105,268 名

多くのご来館ありがとうございました

【月の学校見学】  
 [学年]、(人数)

月	来館者数	開館日数
1	250	24
2	354	24
3	678	26
4	523	25
計	1805	99

<市内>  
 第四小学校〔6年〕(113)、第十小学校〔6年〕(69)  
 <市外>  
 和光高等学校〔2年〕(20)、東京学芸大学(25)

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内

※駐車場はありません

【電車】○JR国分寺駅下車／徒歩約20分 ○JR西国分寺駅下車／徒歩約15分

【バス】○国分寺市循環バス「ぶんバス」万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車／徒歩約8分

○国分寺市循環バス「ぶんバス」日吉町ルート「泉町一丁目」下車／徒歩約8分

○国分寺駅南口より「京王バス」系統番号(寺83)・(寺85)乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約8分

■開館時間

午前9時～午後5時(入館は午後4時45分まで)

■休館日

毎週月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)  
 年末年始(12月29日から1月3日まで)  
 ※展示替えなどで臨時休館することがあります。

■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。(入園券は史跡の駅で販売)  
 一般……………100円(年間パスポート1,000円)  
 中学生以下……無料

【入園料の減免規則があります】

- 学校の教育活動で生徒(中学生を除く)、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。〕
  - 身体障害者及びその介護者が入園するとき〔発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
  - その他教育長が特別の理由があると認めるとき〔事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。〕
- ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。



ホームページQRコード